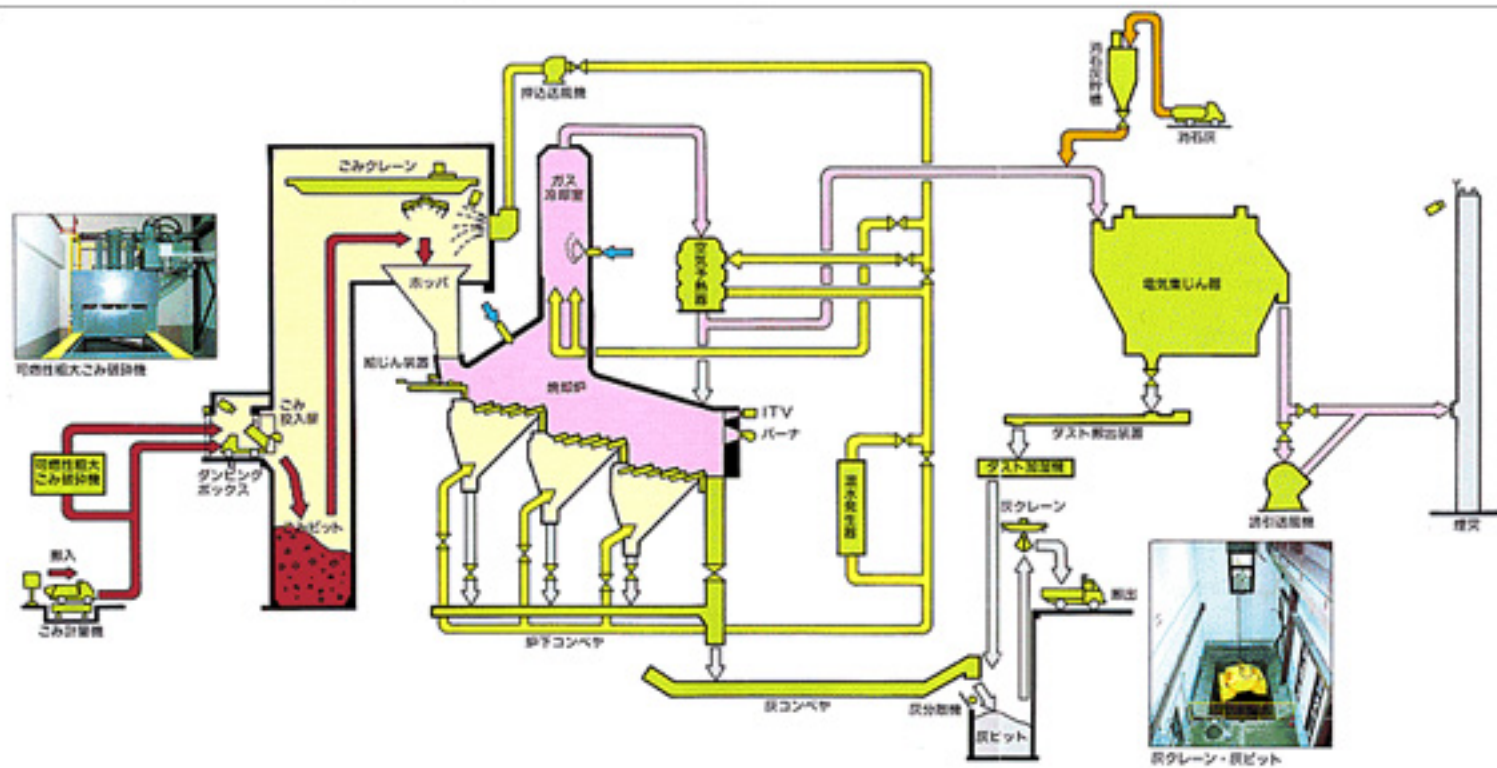


# クリーンセンター 処理の流れ



- ごみの流れ**
1. 搬入された可燃ごみは、計量後、直接ごみピットに投入されます。
  2. 可燃性粗大ごみはギロチン式破砕機で細かく砕き、ごみピットに投入されます。
  3. ごみピットに貯留された可燃ごみは、ごみクレーンでホッパに投入されます。
  4. ホッパに投入されたごみは、給じん装置により定量的に焼却炉のストーカー上に供給され、反転・攪拌をくりかえしながら乾燥・燃焼し、完全に焼却されます。

- 灰の流れ**
1. 完全燃焼後の灰は、炉下コンベア・灰コンベアにて灰ピットに貯留されます。
  2. 電気集じん器で捕集された飛灰は、ダスト搬出装置、ダスト加湿機を経て灰ピットに貯留されます。

- 燃焼用空気の流れ**
1. 燃焼用空気は、ごみピットより吸引され、空気予熱器で予熱されたうえで、炉内へ供給されます。これにより、ごみピット内の臭気の高湿酸化分解処理も同時に行われます。
  2. 空気の一部は、2次空気として、炉内温度の制御用に使われます。

- 排ガスの流れ**
1. ごみの燃焼により発生した排ガスは、ガス冷却室・空気予熱器を通り、消石灰噴霧により有害成分が除去されます。
  2. 電気集じん器では、ばいじんと有害ガス処理で生じた副生成物が除去されます。
  3. 処理された排ガスは、誘引送風機にて吸引され、煙突から大気中に放散されます。
  4. 処理後の排ガス中のばいじん濃度は0.05g/Nm<sup>3</sup>以下、塩化水素濃度は300ppm以下に処理されます。

- 排水の流れ**
1. ごみピット汚水は、ごみ汚水処理室を経て、炉内に噴霧され、高温酸化分解処理されます。
  2. 生活排水と洗車排水等は、生物処理がほどこされ、ガス冷却用水として再利用されます。